

# Genie®



## 操作説明書 安全説明付き

First Edition  
Thirteenth Printing  
Part No. 46281JA

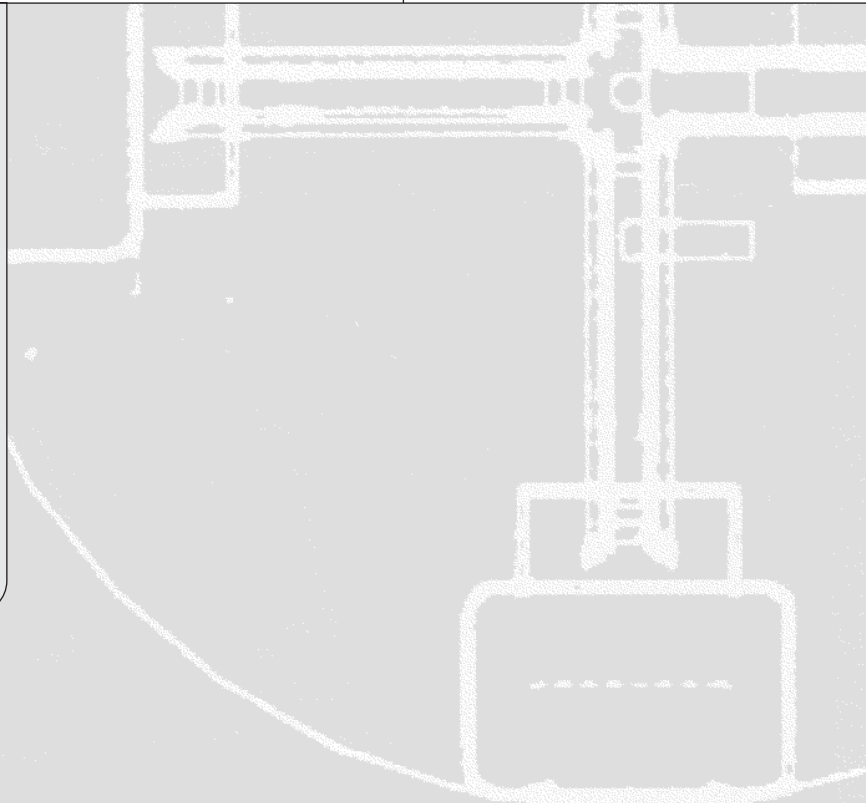
**GS™-2032**

**GS™-2632**

**GS™-2046**

**GS™-2646**

**GS™-3246**



## 重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら **Genie Industries** までご連絡ください。

## 目次

	頁
安全規則 .....	1
説明 .....	9
操作 .....	10
操作前の点検 .....	12
安全確認 .....	14
機能テスト .....	16
作業場の点検 .....	21
操作手順 .....	22
輸送手順 .....	27
ステッカー .....	28
仕様 .....	32

## 連絡先 :


インターネット: <http://www.genielift.com>  
E-mail: [techpub@genieind.com](mailto:techpub@genieind.com)

## Genie Industries

著作権© 1997 by Genie Industries

初版 :  
第十三刷 2001年 9月

「Genie」は米国 Genie Industries およびその他の国における登録商標です。「GS」は Genie Industries の商標です。

 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

# 安全規則



## 危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合は、大怪我や死亡事故の原因につながることもありますので、この説明書の操作指示と安全規則に必ず従ってください。

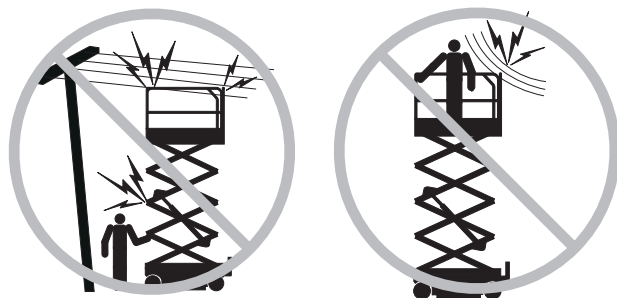
以下の場合を除いて操作は行わないでください：

- 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。
    - 1 危険な状態を避けている。次のセクションに進む前に、安全規則を知り、理解する。
  - 2 常に操作前の点検を行う。
  - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
  - 4 作業場を点検する。
  - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。
- 下記をよく読み、理解し、従っている：
    - 従業員の安全規則と作業場所の規制
    - 適用する行政の規則
  - あなたが安全な機械操作のための適切なトレーニングを受けている。

## 安全規則

### 感電の危険

この機械の電気は絶縁されていないため、電流に接触したり近づいた場合危険です。



適用する行政の規制および次の図に従って、電線や機械から安全な距離を保ってください。

電圧 段階を追った	安全上の最小の 接近距離 メーター
0 ~ 300V	接触を避けてください。
300V ~ 50KV	3. 05
50KV ~ 200KV	4. 60
200KV ~ 350KV	6. 10
350KV ~ 500KV	7. 62
500KV ~ 750KV	10. 67
750KV ~ 1000KV	13. 72

作業台の動きや電線の揺れ・たわみを考慮にいれ、強風・突風に注意してください。

もし機械が通电している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、通电している電線の電気が止められるまで機械に触れたり操作しないでください。

雷や暴風のときは機械を操作しないでください。

機械にアースを接地しないでください。

機械を固い水平な地面に設置している場合以外は作業台を伸長しないでください。

### 転倒の危険

作業員と装備の重量は、作業台最大積載荷重量もしくは作業台延長部の最大積載重量を超えてはなりません。

最大積載重量 — GS-2032	
作業台収縮時	363 kg
作業台伸長時 — 作業台のみ	249 kg
作業台伸長時 — 延長部のみ	113 kg
最大作業員数 — ANSI、CSA	2
最大作業員数 — CE、オーストラリア	
屋外使用	1
屋内使用のみ	2



363 kg



延長部のみ  
113 kg

作業台のみ  
249 kg

最大積載重量 — GS-2632	
作業台収縮時	500 kg
作業台伸長時 — 作業台のみ	113 kg
作業台伸長時 — 延長部のみ	113 kg
最大作業員数 — ANSI、CSA	2
最大作業員数 — CE、オーストラリア	2
屋内使用のみ	



227 kg



延長部のみ  
113 kg

作業台のみ  
113 kg

## 安全規則

## 最大積載重量 — GS-2046

作業台収縮時	544 kg
作業台伸長時 — 作業台のみ	431 kg
作業台伸長時 — 延長部のみ	113 kg
最大作業員数	2



544 kg

延長部のみ  
113 kg作業台のみ  
431 kg

## 最大積載重量 — GS-2646

作業台収縮時	454 kg
作業台伸長時 — 作業台のみ	340 kg
作業台伸長時 — 延長部のみ	113 kg
最大作業員数 — CE	2

最大作業員数 — オーストラリア	1
屋外使用	1
屋内使用のみ	2



454 kg

延長部のみ  
113 kg作業台のみ  
340 kg

## 最大積載重量 — GS-3246

作業台収縮時	318 kg
作業台伸長時 — 作業台のみ	204 kg
作業台伸長時 — 延長部のみ	113 kg
最大作業員数 — ANSI、CSA	2

最大作業員数 — CE、オーストラリア	1
屋外使用	1
屋内使用のみ	2



318 kg

延長部のみ  
113 kg作業台のみ  
204 kg

傾斜アラームを傾斜表示器として使用しないでください。



傾斜アラームは機械が斜面にある場合にのみ車台上で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合：

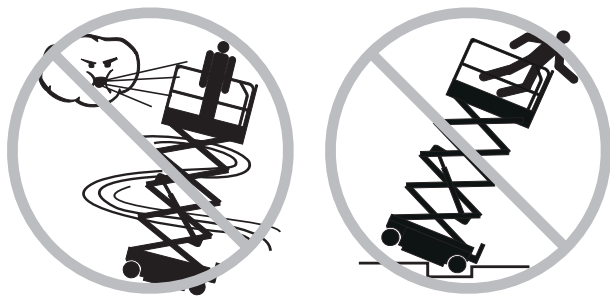
作業台を下げてください。機械を固い水平な地面に移動してください。作業台の上昇中に傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらって作業台を下げてください。

リミットスイッチを変更したり、使用不能にしたりしないでください。

作業台が上昇した状態では時速 0.7 km 以上で走行しないでください。

## 安全規則

強風や突風の中で機械を操作しないでください。作業台の表面や積載床面を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が減少します。



水平でない不安定な地面、もしくは作業台を上げるには危険な他の状態、またはその近辺では、機械を走行しないでください。

収納された位置から、平らでない、残骸のある、安定していない、または滑りやすい場所を通して機械を走行しているとき、またくぼみや積降し位置の近辺で機械を走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

作業台の外の物体を押したり、引っ張ったりしないでください。



### 最大外圧力

#### GS-2032

ANSI、CSA - 2人	534 N
CE - 屋内使用のみ - 2人	534 N
CE - 屋外使用 - 1人	200 N

#### GS-2632

ANSI、CSA - 2人	445 N
CE - 屋内使用のみ - 2人	445 N

#### GS-2046

ANSI、CSA - 2人	801 N
CE - 屋内使用のみ - 2人	801 N
CE - 屋外使用 - 2人	400 N

#### GS-2646

ANSI、CSA - 2人	667 N
CE - 屋内使用のみ - 2人	667 N
CE - 屋外使用 - 2人	400 N
オーストラリア-屋内使用のみ - 2人	667 N
オーストラリア-屋外使用 - 1人	200 N

#### GS-3246

ANSI、CSA - 2人	467 N
CE、オーストラリア-屋内使用のみ - 2人	467 N
CE、オーストラリア-屋外使用 - 1人	200 N

安全性と安定性に何らかの影響をあたえるため、機械の部品を改造したり使用不能にしないでください。

作業台にはしごや足場を置かないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。



作業台にはしごや足場を置かないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。

高所作業台を変更したり改造しないでください。道具を収納するための留め具や他の用具を作業台に取り付けると、踏み板もしくは手摺りのシステムが作業台、作業台の表面もしくは積載床面の重量を増大させます。

## 安全規則

機械の安定性に重大にかかわるものを重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

機械を、動いているまたは移動の可能な面、もしくは車両上で使用しないでください。

すべてのタイヤが良好な状態にあり、溝付きナットが適切に締められ、コッターピンが正確に取り付けられていることを確認してください。

バッテリーは本来装備されていたものよりも軽いものを使用しないでください。バッテリーは釣合おもりとして使用されているため、機械の安定性の維持に大きくかかわっています。それぞれのバッテリーの重量は 29.5 kg でなければなりません。

機械をクレーンとして使用しないでください。

機械や他の物体を作業台と一緒に押して動かさないでください。

近くにある建造物と作業台を接触させないでください。

作業台を近くにある建造物につながないでください。

作業台パラメーターからはみだして荷を載せないでください。

シャーシ台を開けた状態で機械を操作しないでください。

何かの間に挟まったか引っ掛かった、もしくは近くの建造物によって通常の運行を妨げられた作業台を解放する目的で、作業台操作を使用しないでください。地上操作を使用して作業台を解放する前に、すべての作業員は作業台からおりてください。

## 落下の危険



作業員は安全ベルトやハーネスを着用し、適用する行政の規制に従わなければなりません。荷締めを作業台の錨に取り付けてください。

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりした足場を維持してください。

作業台の上昇中は作業台から降りないでください。



物の破片を作業台のそばに置かないでください。

操作前に作業台出入口のチェーンを取り付けるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

手摺りが適切に取り付けてあり、出入口の安全が確保されていないかぎり機械を操作しないでください。

## 安全規則

### 衝突の危険



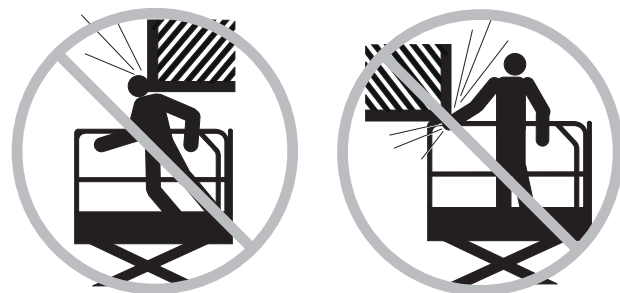
走行または操作中は、視界にかぎりがあることや、死角に留意してください。

機械を移動しているときは延長作業台の位置に注意してください。

ブレーキを解除する場合は、機械を水平な地面に止めてあるか、もしくは固定していなければなりません。

機械の操作時に従業員が認可されたヘルメットを着用されることをすすめます。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないかどうかチェックしてください。



作業台手摺りをつかんでいるときは、手にケガをしないよう注意してください。

作業台操作にある色別された方向矢印と、走行・ステアリング機能のためのステッカープレートをよく見て利用してください。

機械の操作時は、無謀な走行をしたり、むやみに騒いだりしないでください。



作業台の下に人がいないか、また障害物になるものがないかを確認せずに、作業台を下げないでください。

地面の状態、まわりの混雑の具合、傾斜、人の位置、また他の衝突の要因となるものによって走行速度を制限してください。

あらゆるクレーンもしくは頭上を移動する機械装置の軌道上では、クレーンの制御がロックがされ、さらに（もしくは）衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、機械を操作しないでください。

### 破碎の危険

手、腕、脚をシザースに近づけないでください。

地上からコントローラーを使って機械を操作するときは、常識的な判断と手順をもって行ってください。オペレータ、機械、固定されたもの間は安全な距離を保ってください。



## 安全規則

## 部品の損傷の危険

機械にアースを接地しないでください。

## 爆発と火災の危険

危険な場所や、可燃性または爆発性ガスもしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作したりバッテリーを替えたりしないでください。

## 機械の故障の危険

故障や誤作動している機械は使用しないでください。

機器の操作前の点検を完全に行い、シフトの前にすべての機能をテストしてください。故障している機械は直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書と該当するサービスマニュアルに記載されているすべての安全規則を必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読めるかどうかを確認してください。

## 人体への傷害の危険

オイルや空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気やオイルの漏れが原因で、皮膚に飛び散ったりやけどを負うことがあります。

## ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、シグナルを使用しています。



安全警報信号—作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために全ての安全警告に従ってください。

### ▲ 危険

赤—差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は大怪我や死亡事故の原因につながることがあります。

### ▲ 警告

オレンジ—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は大怪我や死亡事故の原因につながることがあります。

### ▲ 注意

安全上の警告シンボルを伴った黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

### 注意

安全上の警告シンボルがない黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

### 注記

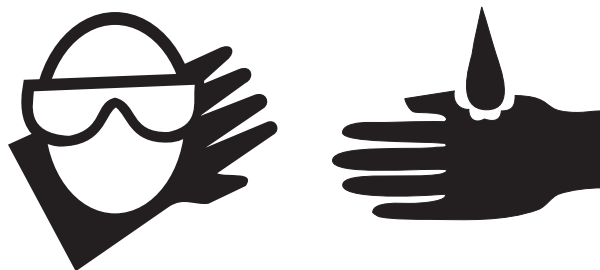
緑—操作情報または安全情報を示します。

## 安全規則

### バッテリーの安全

#### 熱傷の危険

バッテリーには酸が入っています。常に保護服と保護メガネを着用してください。



バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中性にします。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

#### 爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどを近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放ちます。

バッテリートレイは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開けておいてください。

バッテリー端子やケーブルの留め金を、火花を放つ可能性のある道具と接触させないでください。

### 部品の損傷の危険

充電には 24 ボルト以上の充電器を使用しないでください。

#### 感電の危険



充電器を接地された AC 3 ピンコンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブル、ワイヤが破損していないかどうか毎日検査してください。破損しているものは操作の前に取り替えてください。

バッテリー端子との接触による感電を避けてください。指輪、時計、その他の貴金属を全て外してください。

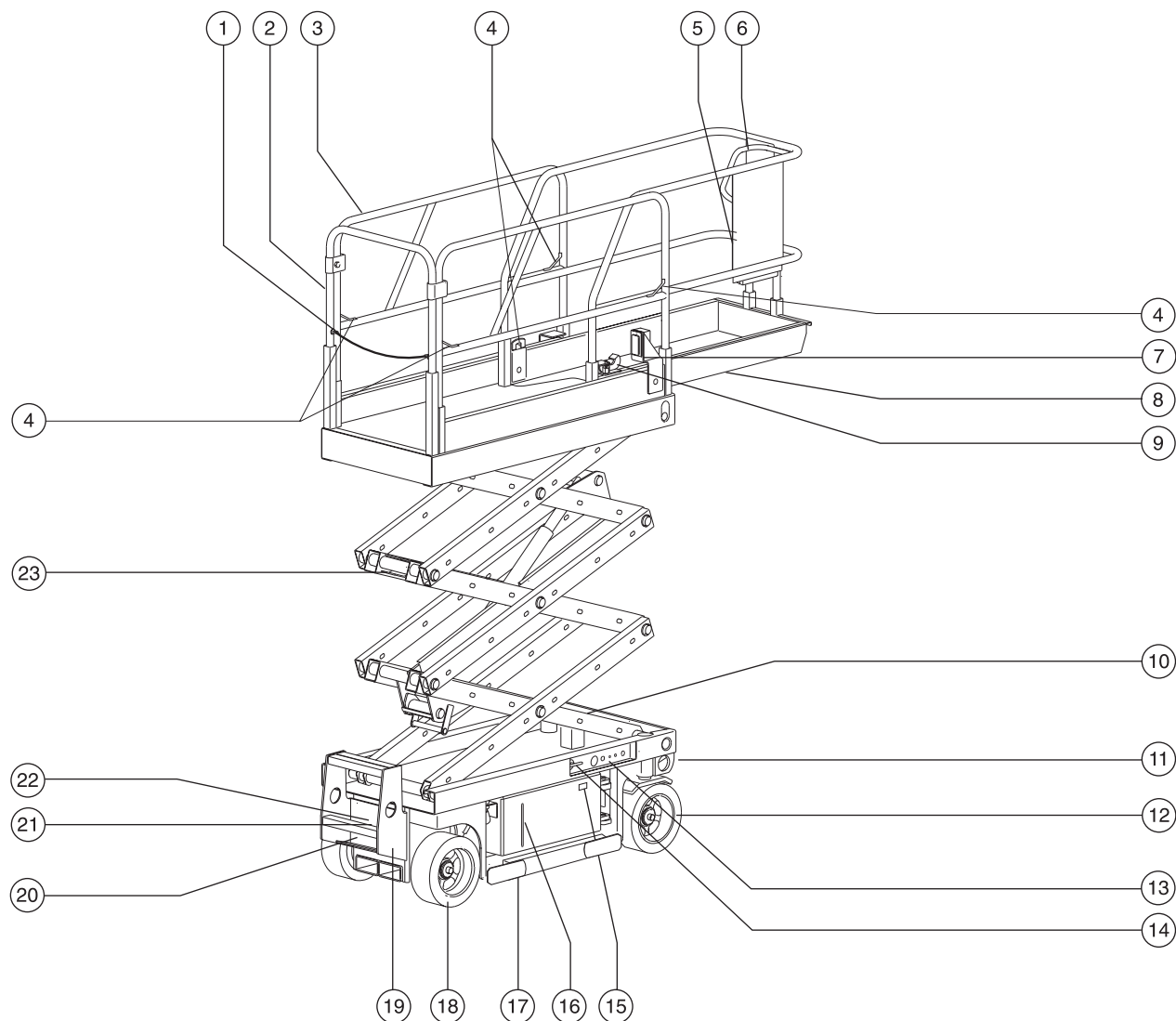
#### 転倒の危険

バッテリーは本来装備されていたものよりも軽いものを使用しないでください。バッテリーは釣合おもりとして使用されているため、機械の安定性の維持に大きくかかわっています。それぞれのバッテリーの重量は 29.5 kg でなければなりません。

#### 持ち上げる危険

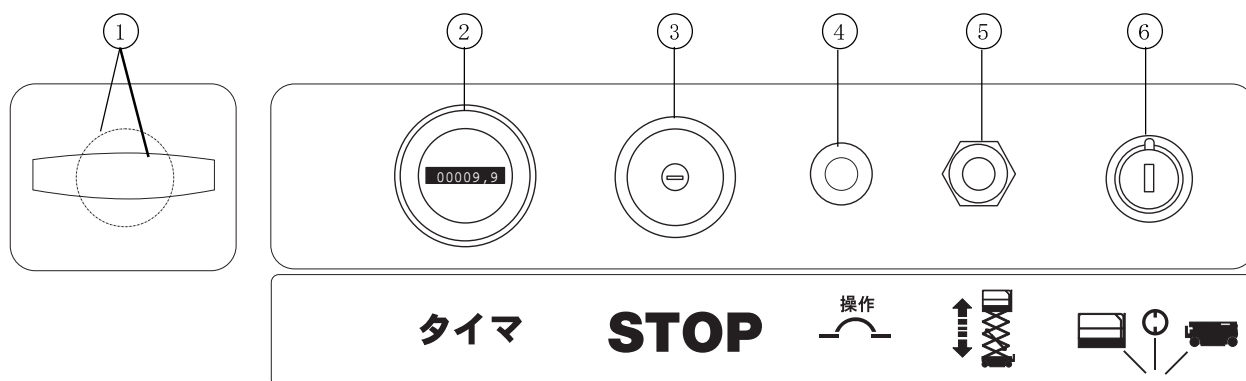
バッテリーを持ち上げるときは、適当な人数により適切な手段で行ってください。

## 説明



- |                   |                        |   |
|-------------------|------------------------|---|
| 1 作業台出入り口チェーンまたは扉 | 9 作業台延長解除ペダル           | 18 非ステアリングのタイヤ                                  |
| 2 作業台手摺り出入口       | 10 傾斜アラーム（アンダーカ<br>バー） | 19 出入口ラダー／輸送荷締機                                 |
| 3 作業台手摺り          | 11 輸送荷締機               | 20 バッテリー充電器                                     |
| 4 荷締め用箇所          | 12 ステアリングタイヤ           | 21 ブレーキ解除ポンプノブ                                  |
| 5 マニュアル保管場所       | 13 地上操作                | 22 ブレーキ解除ノブ                                     |
| 6 作業台操作           | 14 手動下降ノブもしくはボタン       | 23 安全アーム（GS-3246モデル：<br>シリンダー台の上に位置する<br>安全アーム） |
| 7 GFCI 出力         | 15 LED 診断読み出し          |   |
| 8 作業台延長部          | 16 作動油量表示器             |   |
|                   | 17 ポットホール・ガード          |   |

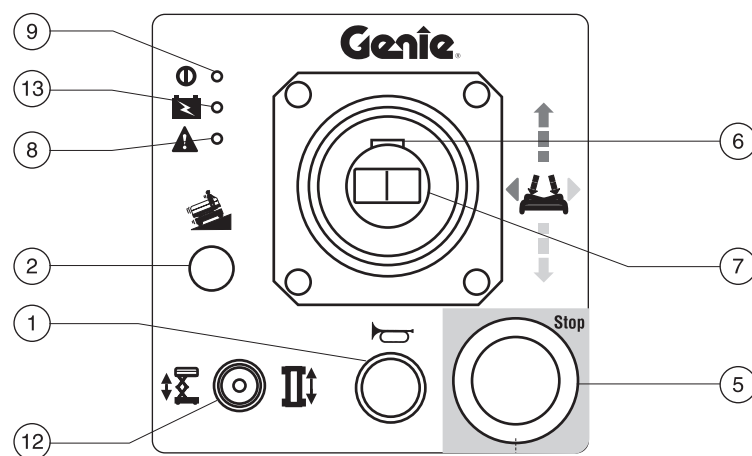
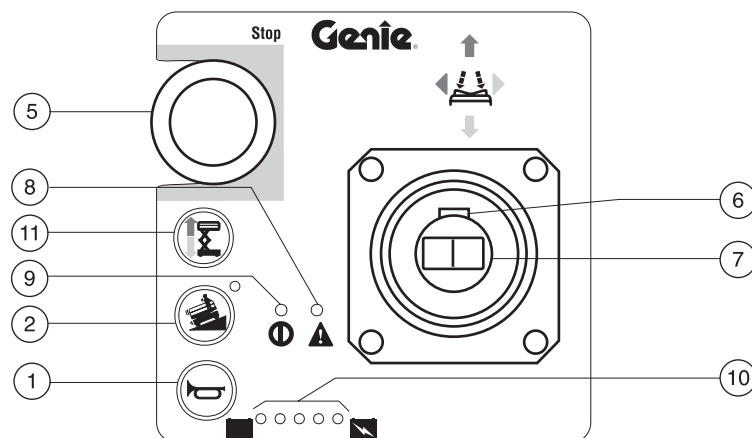
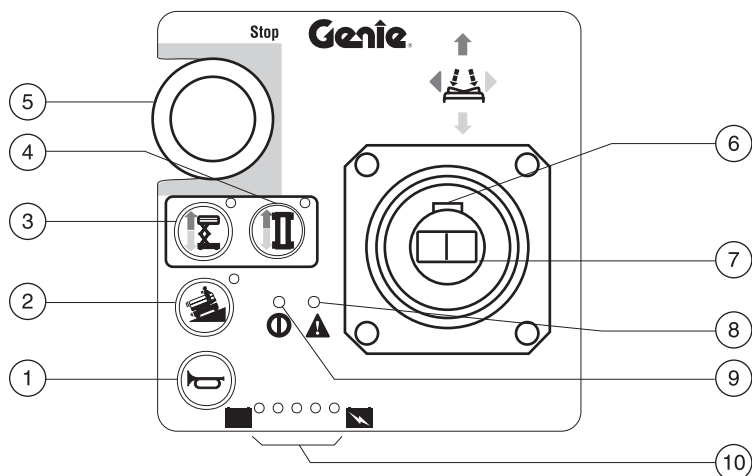
# 操作



## 地上操作パネル

- |                 |                |                             |
|-----------------|----------------|-----------------------------|
| 1 手動下降ノブもしくはボタン | 4 電気回路ブレーカー    | 6 作業台／OFF／地上 セレクト<br>キースイッチ |
| 2 タイマー          | 5 作業台上下トグルスイッチ |                             |
| 3 非常停止ボタン       |                |                             |

操作






ジョイスティックコントローラー

- 1 ホーン
- 2 傾斜シンボルのついている機械：傾斜に備えた低速度操作
- 3 表示ランプ付きリフト機能セレクトボタン
- 4 表示ランプ付き走行機能セレクトボタン
- 5 非常停止ボタン
- 6 機能スイッチ
- 7 リフト・走行機能用比例コントロールハンドルとステアリング機能用ロッカー
- 8 エラー表示ランプ
- 9 電源ランプ
- 10 バッテリーレベル表示器
- 11 リフト機能ボタン
- 12 リフト／走行セレクト・トグルスイッチ
- 13 バッテリー低下表示ランプ

下記のシンボルは本操作説明書中に記載されており、操作の指示を確認するのに役立ちます。

このページのシンボルで機械のどのコントローラーかを認識し、また、文章中の記号ではコントローラーでどの作業をするかを認識します。

もしコントローラーのシンボルが記載されていないならば、作業は必要ありません。

-  左上端にある、2つの機能セレクトと非常停止ボタン
-  左上端にある、1つの機能セレクトボタンと非常停止ボタン
-  右下端にある、非常停止ボタン

# 操作前の点検



## 以下の場合を除いて操作は行わないでください：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。
  - 1 危険な状態での使用を避けている。
  - 2 常に操作前の点検を行っている。
- 次のセクションに移る前に作業前の点検をよく理解している。
  - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
  - 4 作業場を点検する。
  - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

## 原則

操作前の点検と規定の安全確認作業はオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、シフトの前にオペレータが目で行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、機械を見ることによって異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定の安全処置が必要かどうかを決めます。この説明書に記載してある規定の保守項目のみオペレータによって行えます。

次ページのリストで、部品が変更されていないか、損傷部品や、緩んでいたり欠けている部品がないかをチェックしてください。

故障もしくは改造した機械は決して使用しないでください。もし、工場からの輸送状態によって損傷もしくは何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前にここでも操作前の点検を行ってください。

定期安全点検は認定を受けたサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

## 操作前の点検

## 操作前の点検

- オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されているようにしてください。
- すべてのステッカーは、文字が読める状態で、所定の位置あるか確認してください。ステッカーのセクションを参照してください。
- オイルの漏れと適した量をチェックしてください。必要にであればオイルを足してください。保守のセクションを参照してください。
- バッテリー液の漏れと、適した量をチェックしてください。必要にであれば蒸留水をいれてください。安全のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷している、変更されている、また、きちんと設置されていないか、なくなっている部品がないかどうかをチェックしてください。

- 電気部品、配線、電気ケーブル
- 油圧ユニット、タンク、ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- バッテリーパックと接続
- 駆動モーター
- 磨耗板
- タイヤとホイール
- リミット・スイッチ、警報
- ナット、ボルト、他の締め具
- 作業台出入口チェイン
- 作業台出入口扉（ついている場合）
- ビーコン（ついている場合）
- 手動ブレーキ解除部品
- 安全アーム
- ポットホール・ガード

- 作業台延長部
- シザースピンと抑制ファスナー
- 作業台操作ジョイスティック
- 発電機（ついている場合）
- カウンターウェイト（ついている場合）

機械全体をとおして下記をチェックしてください：

- 溶接や機械部品の割れ
- 機械のへこみと故障
- 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にしてください。
- 側面の手摺りが設置され、ボルトが締まっている。
- シャーシトレイが正しい位置に設置され、ラッチで留められ、適切に接続していることを確認してください。

# 安全確認



## 必ず従うこと：

- ☑ この説明書に記載してある規定の安全確認項目のみオペレータによって行えます。
- ☑ 定期安全点検は認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

## 安全確認記号の説明

### 注

下のシンボルは、指示の意図を伝えるために使用されています。安全手順のはじめに1つ以上のシンボルがあらわれる場合は、次の意味を伝えています。



この手順を行うために、道具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。

## オイルの量の点検



オイルの量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって大変重要です。オイルの量が適切でないと油圧部品に損傷を与えることがあります。点検担当者はオイルの量を毎日チェックすることにより、オイルの量に変化がある場合には油圧システムでの問題を見つけることができます。

### 注

作業台を収納した状態でこの作業を行ってください。

- 1 油圧ユニットモジュールの横のゲージで油圧タンクのオイルの量を目視点検してください。
- ◎ 結果：オイルの量は、オイル量表示ステッカーの Full (満タン) と Add (追加) のマークの間を指し示す必要があります。
- 2 必要に応じてオイルを追加します。このときにあふれないようにしてください。

### オイルの仕様

オイルのタイプ Dexron またはそれに相当するオイル



## 安全確認

## バッテリーの点検



機械の安全操作にはバッテリーが適切な状態になっていることが重要です。適切でない油圧レベル、あるいはケーブルまたは接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

**▲ 警告** 感電の危険。熱くなっている回線やライブ回線に触った場合は、重傷を負ったり死に至る場合があります。指輪、時計、その他の貴金属を全て外してください。

**▲ 警告** 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中性にします。

**注** このテストはバッテリーの充電が終ってから行ってください。

- 1 保護服と保護用メガネを着用してください。
- 2 バッテリーケーブルが腐食していないか確認してください。
- 3 バッテリーの装着とケーブルがしっかりと接続されているかを確認してください。
- 4 バッテリー通気孔のキャップをとってください。
- 5 各バッテリーの酸の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときにあふれないようにしてください。
- 6 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。

## 定期安全点検

四半期ごと、1年ごと、2年ごとに行われる保守点検は、本装置の保守トレーニングを受け認定された担当者が本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行ってください。

# 機能テスト



## 以下の場合を除いて操作は行わないでください：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。
  - 1 危険な状態での使用を避けている。
  - 2 常に操作前の点検を行っている。
  - 3 使用する前に常に機能テストを行っている。
- 次のセクションに進む前に、機能テストをよく理解している。
- 4 作業場を点検している。
- 5 決められた用途にのみ機械を使用している。

下記のシンボルは本操作説明書中に記載されており、操作の指示を確認するのに役立ちます。

このページと11ページにあるシンボルで機械のどのコントローラかを確認し、また、文章中のシンボルではコントローラでどの動作をするのかを確認します。

もしコントローラのシンボルが記載されていなければ、作業は必要ありません。



左上端にある、2つの機能セレクトと非常停止ボタン



左上端にある、1つの機能セレクトボタンと非常停止ボタン



右下端にある、非常停止ボタン付きコントローラ

## 原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、段階的な指示にしたがって、全ての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。誤作動が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

## 機能テスト

- 1 障害物がなく、水平で安定している場所でテストを行ってください。
- 2 バッテリーパックが接続されているかどうか確認してください。

**地上操作時**

- 3 作業台と地上両方の赤い地上の非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。
  - 4 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
  - 5 LED 診断を確認します。
- ◎ 結果：LED は“23”もしくは“—”を読み出します。

**非常停止のテスト**

- 6 赤い地上非常停止ボタンを押してオフにします。
- ◎ 結果：機能は何も作動しません。
- 7 赤い地上非常停止ボタンを引いてオンにします。

**上昇下降機能のテスト**

この機械の音による警告と標準ホーンは同じ中央アラームから生じます。ホーンは継続音です。降下アラームは1分間に60回警笛が鳴ります。ポットホール・ガードが位置についていない場合、アラームは1分間に300回の警笛を鳴らします。機械が水平でない場合、アラームは1分間に600回の警笛を鳴らします。オプションで自動車のクラクションと同様のホーンもあります。

- 8 上昇機能を作動します。
- ◎ 結果：作業台があがります。
- 9 下降機能を作動します。
- ◎ 結果：作業台が下がります。作業台が下がっているときには下降アラームが鳴ります。

**手動降下のテスト**

- 10 上昇機能を作動し、作業台を約 0.6 メートル上げます。
  - 11 地上操作の隣にある手動下降ハンドルを引くか、もしくは手動下降ボタンを押します。
- ◎ 結果：作業台が下がります。下降アラームは鳴りません。
- 12 キー・スイッチを回して作業台操作に切り替えます。

**作業台操作時****非常停止のテスト**

- 13 赤い作業台非常停止ボタンを押してオフにします。
- ◎ 結果：機能は何も作動しません。

**ホーンのテスト**

- 14 赤い非常停止ボタンを引いてオンにします。
  - 15 ホーンボタンを押します。
- ◎ 結果：ホーンが鳴ります。




## 機能テスト

### 機能作動スイッチのテスト

- 16 機能作動ボタンを押さないでください。
- 17 コントロールハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かしてください。

◎ 結果：機能は何も作動しません。

### 上昇下降機能のテスト

- 18  リフト機能セレクトボタンを押します。
-  リフト機能作動ボタンを押したままにしてください。
-  リフト／走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。（装備している場合）

- 19 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。

- 20 操作ハンドルを青の矢印の方向へゆっくりと動かします。

◎ 結果：作業台があがります。ポットホール・ガードが位置につきます。

- 21 操作ハンドルを離します。

◎ 結果：作業台の上昇が止まります。


- 22 機能作動ボタンを押したままにします。操作ハンドルを黄色の矢印の方向へゆっくりと動かします。


◎ 結果：作業台が下がります。作業台が下がっているときには下降アラームが鳴ります。

CE モデル：作業台が下がったときは、地上から2.1mのところまで停止します。作業台の下に人がいないか、また物が置かれていないか確認してから作業を継続してください。続けて下降をするときには、操作ハンドルをはなし5秒間をおいてから再度操作ハンドルを動かしてください。

### ステアリングのテスト

注記：ステアリングと走行機能テストを行っているときは、作業台上機械の端にあるステアリングに向かって立ってください。

- 23  走行機能セレクトスイッチを押します。

 リフト／走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。（ついている場合）

- 24 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。

- 25 操作ハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押し下げてください。

◎ 結果：ステアリング・ホイールが操作パネルの青い三角が示す方向に回ります。

- 26 ロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押し下げてください。

◎ 結果：ステアリング・ホイールが操作パネルの黄色い三角が示す方向に回ります。

## 機能テスト

## 走行ブレーキのテスト

27 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。

28 コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻してください。


◎ 結果：機械が操作パネルの青い矢印の方向に動き、不意に止まります。


29 コントロールハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央まで戻してください。


◎ 結果：機械が操作パネルの黄色い矢印の方向に動き、不意に止まります。

注記：登れる斜面であれば、ブレーキは機械の停止能力を持っています。

## 制限走行速度のテスト

30  リフト機能セレクトボタンを押します。


 リフト機能作動ボタンを押したままにしてください。

 リフト／走行・セクタースイッチをリフトの位置に動かします。（ついている場合）

31 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。作業台を地上約 1.2m まで上昇してください。

◎ 結果：ポットホール・ガードが位置につきます。

32  走行機能セレクトスイッチを押します。

 リフト／走行・セクタースイッチを走行の位置に動かします。（ついている場合）

33 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。ゆっくりとコントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。

◎ 結果：作業台が上昇した状態での最大走行速度は 23 cm/秒を越えないでください。

作業台が上昇した状態で、走行速度が 23 cm/秒を越えた場合、直ちに故障の貼り紙を付けて使用を中止してください。

## 傾斜センサーのテスト

注記：このテストは地上で作業台操作で行ってください。作業台に立たないでください。

34 作業台を完全に下げます。

35 片側の2つのタイヤの下に4×9cmのブロックもしくは同様の木材を置き、機械がその上にくるように動かします。

36 作業台を上昇させます。

◎ 結果：作業台が地上から 2.1 m まで上昇するまでにアラームが鳴らなければなりません。

37 作業台を下げ、両方の木材を取り除きます。

## 機能テスト

### ポットホール・ガードのテスト

注記：作業台が上昇したらポットホール・ガードが自動的に位置につきます。ポットホール・ガードによって、機械の走行速度を制御する2つのリミットスイッチが作動します。ポットホール・ガードが位置につかないまま作業台が 1.8 m 以上上がった場合は、アラームが鳴り機械は走行しません。

38 作業台を上昇させます。

◎ 結果：作業台が地上 1.2 m に上がったなら、ポットホール・ガードが位置につきます。

39 ポットホール・ガードの一方を押し、もう一方を押ししてください。

◎ 結果：ポットホール・ガードは動きません。

40 作業台を下げてください。

◎ 結果：ポットホール・ガードが閉じた状態になります。

41 4×9 cm のブロックもしくは同様の木材をポットホール・ガードの下に置きます。作業台を上昇させます。

◎ 結果：作業台が地上から 2.1 m に上がるとアラームが鳴り走行できません。

42 作業台を下げ、4×9 cm のブロックを取り除きます。

### 作業台リミットスイッチのテスト

#### — GS-3246 モデル

注記：GS-3246 モデルには、シャーシにカウンターウエイトがついているためテストが必要でないものがあります。カウンターウエイトは灰色をしており、寸法は 89 cm × 30 cm です。シャーシトレーをあけ、機械にこのカウンターウエイトがついているかどうかを確認してください。ついていない場合テストを行ってください。

43 作業台を地上約 7.9 m まで上げてください。

44 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。

45 ゆっくりとコントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。

◎ 結果：走行機能は作動しません。

走行するため作業台を下げてください。

# 作業場の点検



## 以下の場合を除いて操作は行わないでください：

- 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。
  - 1 危険な状態での使用を避けている。
  - 2 常に操作前の点検を行っている。
  - 3 使用前に常に機能テストを行っている。
  - 4 作業場を点検している。
- 次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解している。
- 5 決められた用途にのみ機械を使用している。

## 作業場の点検

次の危険な状態を知り、避けてください：

- 積降し場、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械からの負荷に耐えるには不適當な地面
- 風や天候の状態
- 不必要な作業員
- 他に起こりうる安全でない状態

## 原則

作業場の点検によって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを決めることができます。作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を記憶し、機械の移動、セットアップ、運転時に気を配り危険を回避してください。

# 操作手順



## 以下の場合を除いて操作は行わないでください：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。
  - 1 危険な状態での使用を避けている。
  - 2 常に操作前の点検を行っている。
  - 3 使用前に常に機能テストを行っている。
  - 4 作業場を点検している。
  - 5 決められた用途にのみ機械を使用している。

## 原則

操作手順のセクションでは、それぞれの機械操作の特徴ごとに手順を説明しています。安全規則やオペレータの安全・責務マニュアルの手順に従うことはオペレータの任務です。

人や工具を空中の作業場まで上げる目的以外で機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。2人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則やオペレータの安全・責務マニュアルの手順に従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。



## 操作手順

## 非常停止

地上操作もしくは作業台操作で赤い非常停止ボタンを押してオフの位置にし、全ての機能を停止します。

非常停止ボタンが押されている状態で作動している機能は修理してください。

## 地上からの操作

- 1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 2 地上操作と作業台操作の両方の赤い非常停止ボタンを引いてボタンをオンの位置にします。
- 3 機械を操作する前にバッテリーパックが接続されているかどうか確認してください。

## 作業台を位置につける




- 1 操作パネルのマークに従って上下トグルスイッチを動かします。

走行およびステアリング機能は地上操作では操作できません。

## 作業台からの操作



- 1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。
- 2 地上操作と作業台操作の赤い非常停止ボタンを引いてボタンをオンの位置にします。
- 3 機械を操作する前にバッテリーパックが接続されているかどうか確認してください。

## 作業台を位置につける

- 1  リフト機能セレクトボタンを押します。  
 リフト機能作動ボタンを押したままにしてください。  
 リフト／走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。(ついている場合)
- 2 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。
- 3 操作パネルのマークに従ってコントロールハンドルを動かします。



CEモデル：作業台が下がったときは、地上から 2.1m のところで停止します。作業台の下に人がいないか、また物が置かれていないか確認してから作業を継続してください。続けて下降をするときには、操作ハンドルをはなし 5 秒間をおいてから再度操作ハンドルを動かしてください。

## ステアリング

- 1  走行機能セレクトボタンを押します。  
 リフト／走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。
- 2 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。
- 3 ステアリングホイールを操作ハンドルの先端にあるロッカースイッチを回します。

## 操作手順

### 走行

- 1  走行機能セレクトボタンを押します。  
 リフト／走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。
- 2 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。
- 3 速度を上げる：操作ハンドルを中心の位置からからゆっくり動かします。  
速度を下げる：操作ハンドルを中心へ向かってゆっくり動かします。  
停止する：操作ハンドルを中心の位置へ戻すか、機能作動スイッチを解除します。

作業台操作と作業台の色別された方向矢印で、機械が進む方向を確認してください。

作業台が上がった状態では走行スピードが制限されます。

バッテリーの状態は機械の性能に影響します。バッテリー低下表示ランプが点灯しているか、バッテリーレベル表示器がのランプが最後に点滅していた場合、機械の走行速度と機能速度は低下します。

### エラー表示ランプがオンの場合

エラー表示ランプがオンの場合、非常停止ボタンを押しその後非常停止ボタンを引いてシステムをリセットしてください。



ランプがオンのままであれば、故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

### 走行セレクトスイッチ

傾斜シンボルのついている機械：  
傾斜に備えた低速度操作



通常の走行操作には、トグルスイッチを下に動かしてください。

## 操作手順

## 作業台の伸長と格納

- 1 作業台踏み板の作業台伸長解除ペダルを踏みま  
す。
- 2 作業台手すりを持って慎重に押し、作業台を中央  
停止位置まで伸長します。
- 3 再び解除ペダルを踏んで作業台が完全に伸長する  
まで押します。

作業台を伸長しているときは、作業台延長部に立た  
ないでください。

- 4 作業台延長解除ペダルを踏み、作業台を中央停止  
位置まで引いて収縮させます。再び解除ペダルを  
踏んで作業台を完全に収縮させます。

シャーシカウンターウエイトのついていないGS-3246  
モデル：作業台伸長リミットスイッチは、作業台が  
伸長した状態で地上 7.9 m より高く上がっている場  
合走行機能を動かなくします。機械を走行するに  
は、作業台を下げるか作業台延長部を収縮してくだ  
さい。

## コントローラによる地上からの 操作

オペレータ、機械、固定されたもの間は安全な距  
離を保ってください。

コントローラを使用しているときは機械の進む方向  
に注意してください。

## 毎回使用後

- 1 固い水平な地面で、物の破片や人や車の往来のな  
い、安全な格納場所を選んでください。
- 2 作業台を下げてください。
- 3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外に  
よる使用をさけるためキーを取り外してくだ  
さい。
- 4 輪止めをかましてください。
- 5 バッテリーを充電します。

# 操作手順



## バッテリーと充電器の操作手順

### 必ず従うこと：

- ☑ 外部充電池またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- ☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- ☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。
- ☑ Genie が承認するバッテリーと充電器を使用してください。

## バッテリーの充電

- 1 バッテリーを充電する前にバッテリーが接続されているかどうか確認してください。
- 2 バッテリーコンパートメントを開けます。コンパートメントは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開けておいてください。
- 3 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じてプレートがかくれる程度に蒸留水を入れてください。充電の前には入れすぎないでください。
- 4 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。
- 5 充電器を接地したAC回路に接続してください。
- 6 充電器をオンにしてください。
- 7 バッテリーの充電が終わると充電池がそれを表示します。
- 8 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときにあふれないようにしてください。

## 乾式バッテリー液の注入と充電の手順

- 1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。
- 2 それぞれのセルにプレートがかくれるのに十分な程度のバッテリー液（電解液）を入れてください。

バッテリー充電のサイクルが終了するまではいっばいに入れないでください。入れすぎますと、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中性にします。

- 3 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。
- 4 バッテリーを充電します。
- 5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときにあふれないようにしてください。

# 輸送手順



## 必ず従うこと：

- ☑ クレーンやフォークリフトで機械を持ち上げるときは常識的な判断と予測をしながら、機械の動きをコントロールしてください。
- ☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せているときは、輸送車両が動かないよう固定してください。
- ☑ 車両の容量、積載位置、チェーン、ストラップが機械の重量に耐えうる十分なものであることを確認してください。仕様のセクションを参照してください。
- ☑ ブレーキを解除する場合は、機械を水平な地面に止めてあるか、もしくは固定していなければなりません。

## 輸送用トラックまたはトレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

シャーシの荷締め位置を使って輸送車両へ固定ください。

積載荷重量に対して余裕のあるチェーンやストラップを使用してください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

ゆるんでいたり、固定されていない箇所がないかどうか点検してください。

## ブレーキ解除操作

- 1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。
- 2 シャーシの荷締め箇所の移動のためにウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認してください。
- 3 ブレーキバルブを開けるためにブレーキ解除ノブを左（反時計回り）に回してください。
- 4 ブレーキ解除ポンプノブを上下に動かしてください。

機械を載せたら：

- 1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。
- 2 ブレーキをリセットするためにブレーキ解除ノブを時計回りに回してください。

Genie GS-2032、GS-2632、GS-2046、GS-2646 および GS-3246 を牽引することは勧められません。牽引しなければならない場合は、時速 3.2 km を越えないでください。

# ステッカー

## ステッカーの点検

次ページの絵を見て、ステッカーの文字が読める状態で所定の位置に貼ってあるかどうかを確認してください。

下表は番号順に並べられたステッカーの数量と詳細のリストです。

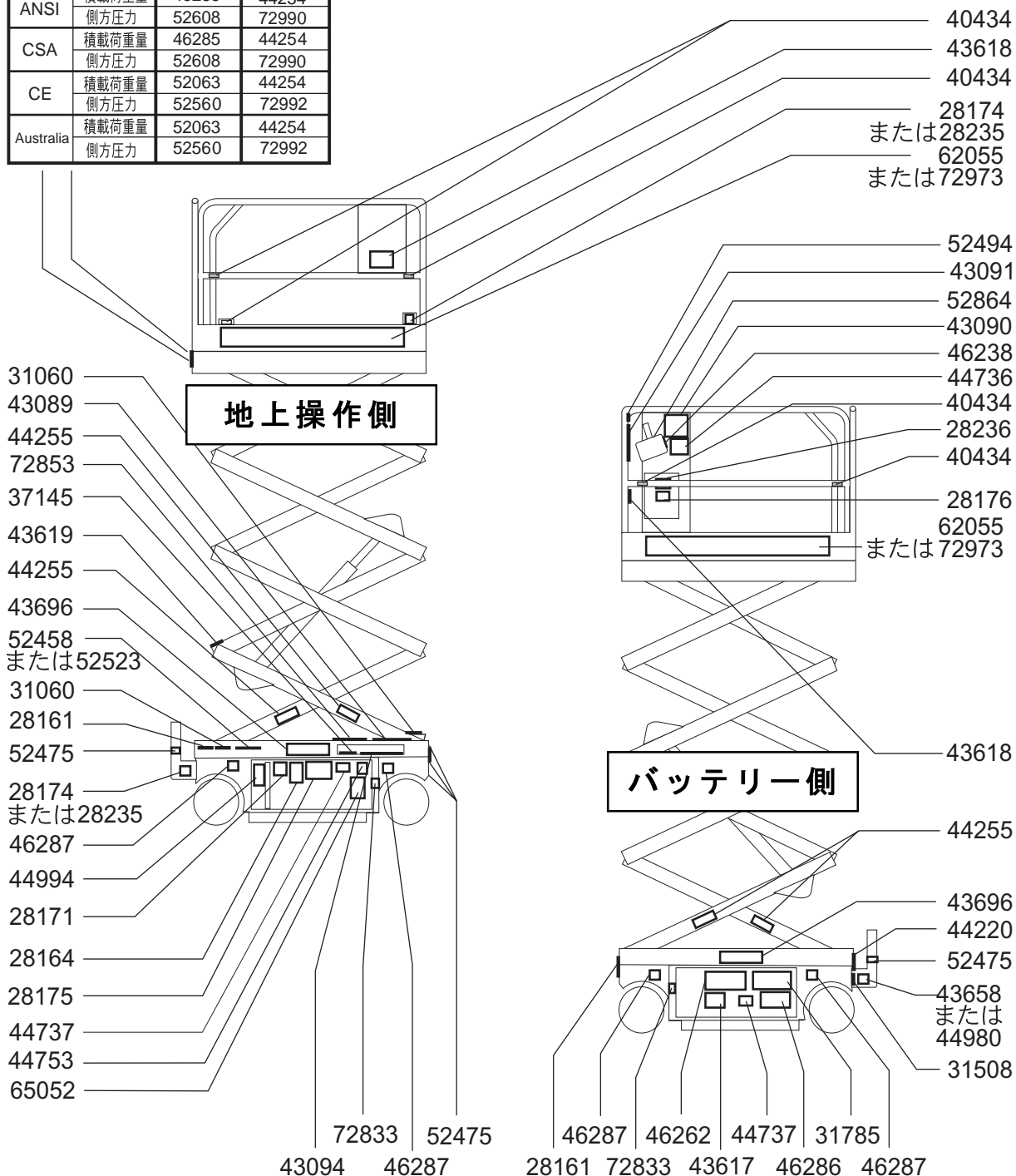
品番	名称	数量
28161JA	警告 - 手のケガ	2
28164JA	注記 - 危険機材	1
28171	ラベル - 禁煙	1
28174JA	ラベル - 作業台への電力 230V	2
28175JA	注意 - コンパートメントへのアクセス	1
28176JA	注記 - 紛失した説明書	1
28235JA	ラベル - 作業台への電力 115V	2
28236JA	警告 - ...を読まないで	1
31060JA	危険 - リミットスイッチは変えないで下さい	2
31508JA	注記 - バッテリー充電器への電源	1
31785JA	注記 - バッテリー充電器の操作手順	1
37145JA	ラベル - 手動下降	1
40434JA	ラベル - 荷締め用箇所	5
43089JA	注記 - 操作手順 - 地上	1
43090JA	注記 - 操作手順 - 作業台	1
43091JA	危険 - 一般安全規則	1
43094JA	地上操作パネル	1
43617JA	危険 - 転倒 (バッテリー)	1
43618	ラベル - 方向矢印	2
43619JA	ラベル - 安全アーム	1
43658JA	ラベル - 充電器への電源、230V	1
43696JA	危険 - 感電の危険	2
44220JA	危険/注記 - ブレーキ解除の安全と操作手順	1
44254JA	注記、最大積載荷重 227 kg, GS-2632	1
44255JA	危険 - 落下の危険	4
44736JA	危険 - 傾斜アラーム	1

品番	名称	数量
44737JA	危険 - 転倒、台飛出し	2
44753JA	ラベル - LED 診断読み出し	1
44980JA	ラベル - 充電器への電源、115V	1
44994JA	ラベル - 作動油量/Dexron	1
46238JA	注記 - エラー表示ランプ	1
46262JA	危険 - バッテリー/充電器の安全	1
46285JA	注記 - 最大積載荷重 363 kg GS-2032, ANSIとCSA	1
46286JA	注記 - バッテリー接続図	1
46287JA	注記 - タイヤ仕様	4
52063JA	注記 - 最大積載荷重 363 kg, GS-2032, CE	1
52458	シリアルプレート、CE	1
52475JA	ラベル、輸送の荷締め	5
52494JA	危険、落下の危険	1
52523	シリアルプレート、ANSIとCSA	1
52560JA	注記 - 側方圧力と風速 GS-2032, CE	1
52608JA	注記 - 側方圧力、GS-2032,ANSIとCSA	1
52864	作業台操作パネル	1
62055	Genie GS-20322	
65052JA	ラベル - ECU 欠陥コード	1
72833JA	ラベル、オープンラッチ	2
72853JA	危険、不適切な使用による危険	1
72973	Genie GS-2632	2
72990JA	注記 - 側方圧力、GS-2632, ANSIとCSA	1
72992JA	注記 - 側方圧力と風速 GS-2632, CE	1

ステッカー

GS-2032 and GS-2632

ステッカー品番			
各機種に対して積載荷重量ステッカーおよび側方圧カステッカーが一つずつ必要です。			
		GS-2032	GS-2632
ANSI	積載荷重量	46285	44254
	側方圧力	52608	72990
CSA	積載荷重量	46285	44254
	側方圧力	52608	72990
CE	積載荷重量	52063	44254
	側方圧力	52560	72992
Australia	積載荷重量	52063	44254
	側方圧力	52560	72992



## ステッカー

### ステッカーの点検

次ページの絵を見て、ステッカーの文字が読める状態で所定の位置に貼ってあるかどうかを確認してください。

下表は番号順に並べられたステッカーの数量と詳細のリストです。

品番	名称	数量
28161JA	警告 - 手のケガ	2
28164JA	注記 - 危険機材	1
28171	ラベル - 禁煙	1
28174JA	ラベル - 作業台への電力 230V	2
28175JA	注意 - コンパートメントへのアクセス	1
28176JA	注記 - 紛失した説明書	1
28235JA	ラベル - 作業台への電力 115V	2
28236JA	警告 - ...を読まないで	1
31060JA	危険 - リミットスイッチは変えないで下さい	2
31508JA	注記 - バッテリー充電器への電源	1
31785JA	注記 - バッテリー充電器の操作指示	1
37145JA	ラベル - 手動下降	1
40434JA	ラベル - 荷締め用箇所	5
43089JA	注記 - 操作手順 - 地上	1
43090JA	注記 - 操作手順 - 作業台	1
43091JA	危険 - 一般安全規則	1
43094JA	地上操作パネル	1
43617JA	危険 - 転倒 (バッテリー)	1
43618	ラベル - 方向矢印	2
43619JA	ラベル - 安全アーム	1
43658JA	ラベル - 充電器への電源 230V	1
43696JA	危険 - 感電の危険	2
44220JA	危険/注記 - ブレーキ解除の安全と操作手順	1
44254JA	注記 - 最大積載荷重 227 kg, GS-3246, CSA	1
44255JA	危険 - 落下の危険	4
44736JA	危険 - 傾斜アラーム	1
44737JA	危険 - 転倒、台飛出し	2
44753JA	ラベル - LED 診断読み出し	1
44980JA	ラベル - 充電器への電源 115V	1
44994JA	ラベル - 作動油量/Dexron	1
46238JA	注記 - エラー表示ランプ	1
46262JA	危険 - バッテリー/充電器の安全	1
46286JA	注記 - バッテリー接続図	1
46287JA	注記 - タイヤ仕様	4

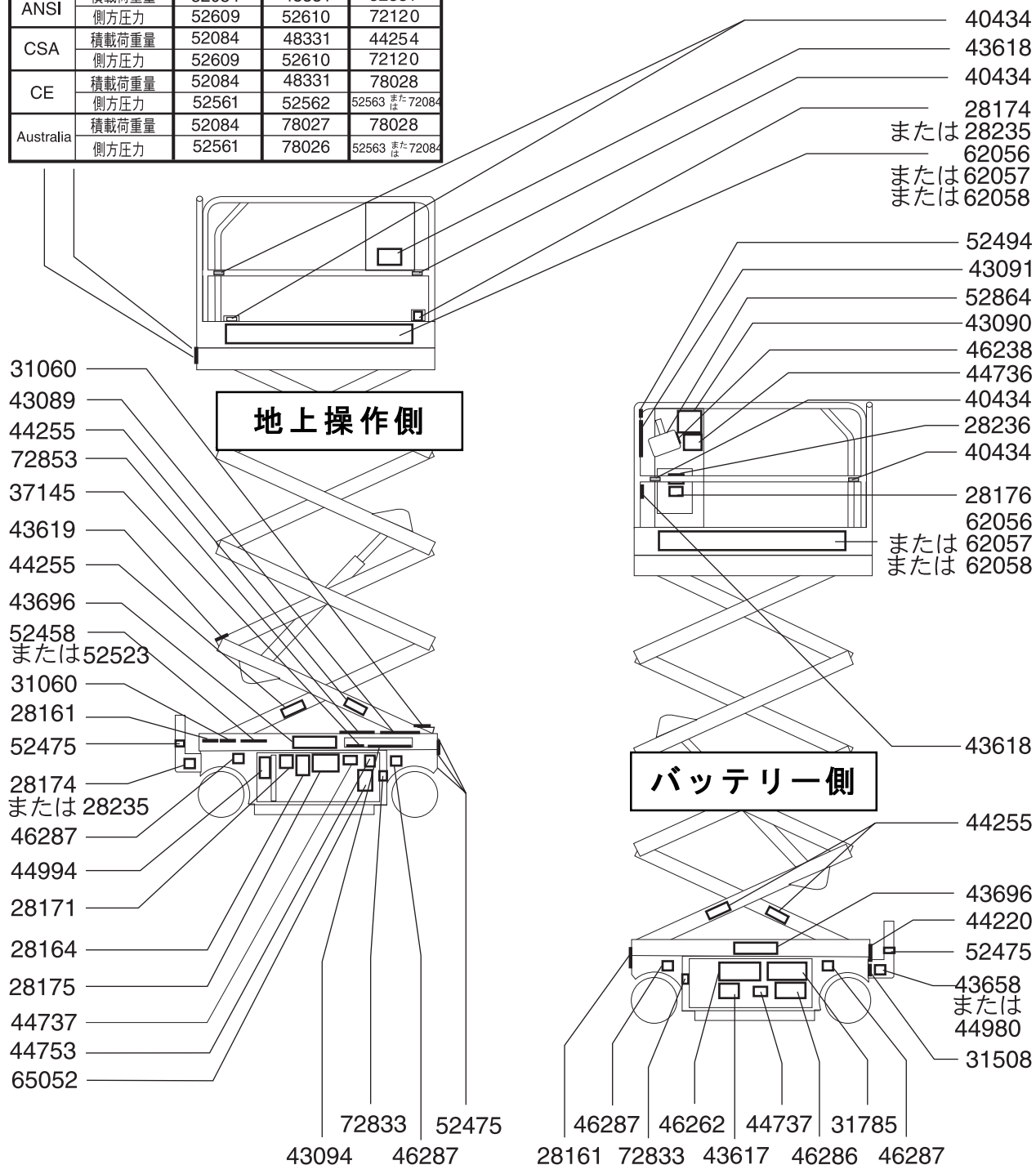
品番	名称	数量
48331JA	注記 - 最大積載荷重 454 kg, GS-2646	1
52084JA	注記 - 最大積載荷重 544 kg, GS-2046	1
52337JA	注記 - 最大積載荷重 318 kg, GS-3246	1
52458	シリアルプレート、CE	1
52475JA	ラベル、輸送の荷締め	5
52494JA	危険、落下の危険	1
52523	シリアルプレート、ANSIとCSA	1
52561JA	注記 - 側方圧力と風速 GS-2046, CE	1
52562JA	注記 - 側方圧力と風速 GS-2646, CE	1
52563JA	注記 - 側方圧力と風速 GS-3246, CE	1
52609JA	注記 - 側方圧力、GS-2046, ANSIとCSA	1
52610JA	注記 - 側方圧力、GS-2646, ANSI,とCSA	1
52864	作業台操作パネル	1
62056	Genie GS-2046	2
62057	Genie GS-2646	2
62058	Genie GS-3246	2
65052JA	ラベル - ECU 欠陥コード	1
72084JA	注記 - 側方圧力と風速、GS-3246, CE	1
72120JA	注記、最大側方圧力、ANSIとCSA	1
78026JA	注記、側方圧力、GS-2646, オーストラリア	1
78027JA	注記、最大積載荷重、GS-2646, オーストラリア	1
78028JA	注記、最大積載荷重、GS-3246, CE とオーストラリア	1
72833JA	ラベル、オープンラッチ	2
72853JA	危険、不適切な使用による危険	1



ステッカー

GS-2046, GS-2646 and GS-3246

ステッカー品番				
各機種に対して積載荷重量ステッカーおよび側方圧カステッカーが一つずつ必要です。				
		GS-2046	GS-2646	GS-3246
ANSI	積載荷重量	52084	48331	52337
	側方圧力	52609	52610	72120
CSA	積載荷重量	52084	48331	44254
	側方圧力	52609	52610	72120
CE	積載荷重量	52084	48331	78028
	側方圧力	52561	52562	52563 または 72084
Australia	積載荷重量	52084	78027	78028
	側方圧力	52561	78026	52563 または 72084



# 仕様

モデル	GS-2032
高さ、操作時最大	7.9 m
高さ、作業台最大	6.1 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態 - CE	2.10 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態 - ANSI	1.99 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを下げた状態	1.94 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを取った状態	99 cm
高さ、手摺り - ANSI&CE	99.1 cm
高さ、手摺り - CE	1.10 m
幅	81.3 cm
奥行き、作業台収納時	2.44 m
奥行き、作業台伸長時	3.44 m
最大積載荷重量	363 kg
ホイールベース	1.85 m
旋回半径 (外径)	2.34 m
旋回半径 (内径)	0 cm
最低地上高さ	10.2 cm
最低地上高さ ポットホールガード配置	2.2 cm
重量	シリアルプレートを参照 (機械の重量は、オプション構成により異なります)
登坂力	30%
騒音	70 dB
通常作業のワークステーションでの最大音量 (A-重量)	
電源	バッテリー 4, 6V 245 AH
操作	比例制御

作業台ACコンセント	標準	
リリーフ圧 (機能)	241.3 パール	
タイヤサイズ	15 x 5 x 111/4	
油圧システム容量	20.8 リットル	
<b>作業台の寸法</b>		
奥行き×幅	2.26 m x 79.4 cm	
作業台延長部奥行き	99 cm	
<b>走行速度</b>		
収納時最大	3.5 km/h	
作業台伸長時最大	0.8 km/h 12.2 m/54.5 秒	
<b>床荷重表</b>		
	ANSI&CE	オーストラリア
GVW+許容荷重	1952 kg	2381 kg
最大軸荷重	1111 kg	1547 kg
最大輪荷重	555 kg	773 kg
タイヤごとの局部圧力	8.62 kg/cm <sup>2</sup> 845 kPa	12.0 kg/cm <sup>2</sup> 1176 kPa
車体使用面積当たりの圧力	10.54 kPa	12.01 kPa

注記：床荷重表はおおよそのものであり、オプションによる構成の違いは組み入れていません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genieでは製品の改良を重ねていくことを方針としています。製品の仕様は予告なく変更することがあります。

## 仕様

モデル	GS-2632	作業台上ACコンセント	標準
高さ、操作時最大	9.75 m	リリース圧 (機能)	241.3 バール
高さ、作業台最大	7.9 m	タイヤサイズ	15×5×11 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>
高さ、作業台収納時最大	2.29 m	<b>作業台の寸法</b>	
高さ、作業台収納時最大 手摺りを折りたたんだ状態	1.73 m	奥行き×幅	2.26 m×79.4 cm
作業台の高さ、 作業台収納時最大	1.17 m	作業台延長部奥行き	99 cm
高さ、手摺り - ANSI, CSA	99.1 cm	<b>走行速度</b>	
高さ、手摺り - CE	1.10 m	収納時最大	3.5 km/h
幅	81.3 cm	作業台伸長時最大	0.8 km/h 12.2 m/54.5 秒
奥行き、作業台収納時	2.44 m	<b>床荷重表</b>	
奥行き、作業台伸長時	3.44 m	ANSI	CE
最大積載荷重量	227 kg	GVW+許容荷重	2563 kg 2731 kg
ホイールベース	1.85 m	最大軸荷重	1647 kg 1696 kg
旋回半径 (外径)	2.34 m	最大輪荷重	823 kg 848 kg
旋回半径 (内径)	0 cm	タイヤごとの局部圧力	12.77 kg/cm <sup>2</sup> 13.15 kg/cm <sup>2</sup> 1251 kPa 1289 kPa
最低地上高さ	10.2 cm	車体使用面積当たりの圧力	12.68 kPa 13.51 kPa
最低地上高さ ポットホールガード配置	2.2 cm	<b>注記</b> ：床荷重表はおおよそのものであり、オプションによる構成の違いは組み入れていません。安全上の要素を考慮して使用してください。	
重量	シリアルプレートを参照 (機械の重量は、オプション構成により異なります)		
登坂力	25%		
騒音	70 dB		
通常作業のワークステーションでの最大音量 (A-重量)			
電源	バッテリー 4, 6V 245 AH		
操作	比例制御		

Genieでは製品の改良を重ねていくことを方針としています。  
製品の仕様は予告なく変更することがあります。

## 仕様

モデル	GS-2046
高さ、操作時最大	7.9 m
高さ、作業台最大	6.1 m
<b>スライド式手摺りつきのモデル</b>	
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態 - CE	2.10 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態 - ANSI	1.99 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを下げた状態	1.82 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを取った状態	99.7 cm
高さ、手摺り - ANSI、CSA	99.1 cm
高さ、手摺り - CE	1.10 m
<b>折りたたみ式手摺りつきのモデル</b>	
高さ、作業台収納時最大	2.19 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを折りたたんだ状態	1.64 m
作業台の高さ、 作業台収納時最大	1.08 m
<b>すべてのモデル</b>	
幅	1.17 m
奥行き、作業台収納時	2.44 m
奥行き、作業台伸長時	3.44 m
最大積載荷重量	544 kg
ホイールベース	1.85 m
旋回半径（外径）	2.33 m
旋回半径（内径）	0 cm
最低地上高さ	10.2 cm
最低地上高さ ポットホールガード配置	2.22 cm
重量	シリアルプレートを参照 (機械の重量は、オプション構成により異なります)

登坂力	30 %
騒音 通常作業のワークステーションでの最大音量 (A-重量)	70 dB
電源	バッテリー 4, 6V 245 AH
操作	比例制御
作業台ACコンセント	標準
リリース圧 (機能)	241.3 バール
タイヤサイズ	15×5×111/4
油圧システム容量	20.8 リットル
<b>作業台の寸法</b>	
奥行き×幅	2.26 m×1.16 m
作業台延長部奥行き	99 cm
<b>走行速度</b>	
収納時最大	3.5 km/h
作業台伸長時最大	0.8 km/h 12.2 m/54.5秒
<b>床荷重表</b>	
GVW+許容荷重	2506 kg
最大軸荷重	1315 kg
最大輪荷重	657 kg
タイヤごとの局部圧力	10.2 kg/cm <sup>2</sup> 1000 kPa
車体使用面積当たりの圧力	9.41 kPa

注記：床荷重表はおおよそのものであり、オプションによる構成の違いは組み入れていません。安全上の要素を考慮して使用してください。

## 仕様

モデル	GS-2646
高さ、操作時最大	9.8 m
高さ、作業台最大	7.9 m
<b>スライド式手摺りつきのモデル</b>	
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態 - CE	2.28 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態 - ANSI	2.17 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを下げた状態	2.17 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを取った状態	1.17 cm
高さ、手摺り - ANSI, CSA	99.1 cm
高さ、手摺り - CE	1.10 m
<b>折りたたみ式手摺りつきのモデル</b>	
高さ、作業台収納時最大	2.28 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを折りたたんだ状態	1.73 m
作業台の高さ、 作業台収納時最大	1.17 m
<b>すべてのモデル</b>	
幅	1.17 m
奥行き、作業台収納時	2.44 m
奥行き、作業台伸長時	3.44 m
最大積載荷重量	454 kg
ホイールベース	1.85 m
旋回半径（外径）	2.33 m
旋回半径（内径）	0 cm
最低地上高さ	10.2 cm
最低地上高さ ポットホールガード配置	2.2 cm
重量	シリアルプレートを参照 (機械の重量は、オプション構成により異なります)

登坂力	30%
騒音 通常作業のワークステーションでの最大音量 (A-重量)	>70 dB
電源	バッテリー 4, 6V 245 AH
操作	比例制御
作業台ACコンセント	標準
リリース圧 (機能)	241.3 バール
タイヤサイズ	15×5×111/4
油圧システム容量	20.8 リットル
<b>作業台の寸法</b>	
奥行き×幅	2.26 m×1.16 m
作業台延長部奥行き	99 cm
<b>走行速度</b>	
収納時最大	3.5 km/h
作業台伸長時最大	0.8 km/h 12.2 m/54.5 秒
<b>床荷重表</b>	
GVW+許容荷重	2561 kg
最大軸荷重	1406 kg
最大輪荷重	703 kg
タイヤごとの局部圧力	10.91 kg/cm <sup>2</sup> 1069 kPa
車体使用面積当たりの圧力	9.62 kPa

注記：床荷重表はおおよそのものであり、オプションによる構成の違いは組み入れていません。安全上の要素を考慮して使用してください。

## 仕様

モデル	GS-3246	登坂力	25%
高さ、操作時最大	11.6 m	騒音	>70 dB
高さ、作業台最大	9.8 m	通常作業のワークステーションでの最大音量 (A-重量)	
スライド式手摺りつきのモデル		電源	バッテリー 4, 6V 245 AH
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態 - CE	2.41 m	操作	比例制御
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態 - ANSI	2.30 m	作業台ACコンセント	標準
高さ、作業台収納時最大 手摺りを下げた状態	2.13 m	リリーフ圧 (機能)	241.3 パール
高さ、作業台収納時最大 手摺りを取った状態	1.30 cm	タイヤサイズ	15×5×111/4
高さ、手摺り - ANSI, CSA	99.1 cm	油圧システム容量	20.8 リットル
高さ、手摺り - CE	1.10 m	作業台の寸法	
折りたたみ式手摺りつきのモデル		奥行き×幅	2.26 m×1.16 m
高さ、作業台収納時最大	2.41 m	作業台延長部奥行き	99 cm
高さ、作業台収納時最大 手摺りを折りたたんだ状態	1.86 m	走行速度	
作業台の高さ、 作業台収納時最大	1.30 m	収納時最大	3.5 km/h
すべてのモデル		作業台伸長時最大	0.8 km/h 12.2 m/54.5 秒
幅	1.17 m	床荷重表	
奥行き、作業台収納時	2.44 m	GVW+許容荷重	3117 kg
奥行き、作業台伸長時	3.44 m	最大軸荷重	1833 kg
最大積載荷重量	318 kg	最大輪荷重	916 kg
ホイールベース	1.85 m	タイヤごとの局部圧力	14.21 kg/cm <sup>2</sup> 1393 kPa
旋回半径 (外径)	2.33 m	車体使用面積当たりの圧力	11.70 kPa
旋回半径 (内径)	0 cm		
最低地上高さ	10.2 cm		
最低地上高さ ポットホールガード配置	2.2 cm		
重量	シリアルプレートを参照 (機械の重量は、オプション構成により異なります)		

注記：床荷重表はおおよそのものであり、オプションによる構成の違いは組み入れていません。安全上の要素を考慮して使用してください。

<p><b>Genie Holland</b>  電話 +31 70 51 78836  ファックス +31 70 51 13993</p>
<p><b>Genie Scandinavia</b>  電話 +46 31 3409612  ファックス +46 31 3409613</p>
<p><b>Genie France</b>  電話 +33 (0)2 37 26 09 99  ファックス +33 (0)2 37 26 09 98</p>
<p><b>Genie Iberia</b>  電話 +34 93 579 5042  ファックス +34 93 579 5059</p>
<p><b>Genie Germany</b>  電話 +49 (0)4202 88520  ファックス +49 (0)4202 8852-20</p>
<p><b>Genie U.K.</b>  電話 +44 (0)1476 584333  ファックス +44 (0)1476 584334</p>
<p><b>Genie Mexico City</b>  電話 +52 55 5666 5242  ファックス +52 55 5666 3241</p>

**Genie North America**  
電話 425.881.1800  
フリー USA and Canada  
ダイヤル 800.536.1800  
ファックス 425.883.3475

**Genie Australia Pty Ltd.**  
電話 +61 7 3375 1660  
ファックス +61 7 3375 1002

**Genie China**  
電話 +86 21 53852570  
ファックス +86 21 53852569

**Genie Malaysia**  
電話 +60 4 228 1235  
ファックス +60 4 226 6872

**Genie Japan**  
電話 +81 3 3453 6082  
ファックス +81 3 3453 6083

**Genie Korea**  
電話 +82 2 558 7267  
ファックス +82 2 558 3910

**Genie Africa**  
電話 +27 11 455 0373  
ファックス +27 11 455 0355

**Genie Latin America**  
電話 +55 11 4055 2499  
ファックス +55 11 4043 1661

代理店：